

令和6年度に市が実施する事業のうち主要なものを、『安全安心がひろがるまち』『未来を切り拓くまち』『幸せを生み出すまち』の3つの基本方針に沿って紹介します。

問い合わせ 企画財政部連携調整室 (☎35-0953)

令和6年度 主要事業

【基本方針1】安全安心がひろがるまち

防災対策強靱化事業

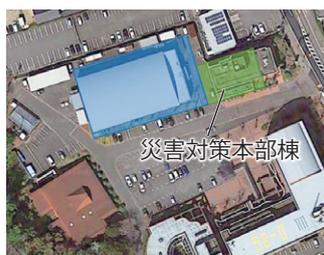
- ・菊川流域治水対策事業 【2億633万6千円】

浸水被害の軽減を図るため、岳洋中学校校庭へ校庭貯留施設整備および棚草川隣接地の雨水貯留施設の詳細設計を実施します。

- ・市役所敷地一帯防災対策強靱化事業

【2億410万2千円】

堀之内体育館および災害対策本部棟の実設計や旧町部地区センターの解体・跡地整備、本庁舎の外壁剥落工事を進め、市役所敷地一帯の防災機能の強靱化を図ります。



防災力を高めるまちづくりの推進

- ・情報伝達・避難体制対策事業 【570万5千円】

防災DXを進めるため、令和5年度に試験導入した「SNSを活用した災害状況収集システム」を本格導入し、多方面から正確な情報を素早く収集できる体制づくりを構築します。

- ・避難行動要支援者支援費 【78万3千円】

優先度が高い避難行動要支援者を対象に、地域の実情を踏まえながら計画作成に取り組んでいく必要があります。令和5年度に策定した「避難行動要支援者避難支援プラン」に基づき、令和6年度は個別避難計画モデル地区を選定し、地区内の避難行動要支援者の計画作成に取り組みます。

【基本方針2】未来を切り拓くまち

菊川駅周辺の賑わい創出

- ・駅南北自由通路整備事業費 【31億687万5千円】

(令和5年度繰越明許含む)

駅南北自由通路は、令和7年度末の開通を目指し整備を推進していきます。令和6年度は、自由通路の整備に併せて、南北の駅前広場の測量設計を行います。設計にあたっては、これまで市民の皆さまからいただいたご意見やご要望をもとに策定した駅周辺空間活用構想のアイデアを可能な限り取り入れていきます。本市の玄関口としてふさわしい駅、これまで以上に多くの人たちに愛される駅を目指していきます。

- ・駅北整備事業 【696万2千円】

利便性の高い住環境づくりを創出し、定住人口の増加へつなげるため、地権者や地元の皆さんで組織する「駅北まちづくり研究会」の支援を引き続き行います。皆さんとともに、令和6年度はさらに具体的な整備計画を考えていきます。



こども・若者のまちづくりへの参画推進

- ・協働のまちづくり推進費 【108万1千円】

「菊川市こども・わかもの参画宣言」に込められた“想い”を形にする取り組みを進めます。こども・若者が主体的に実践する市の課題解決や魅力の向上などを目的とした地域づくり活動に対する支援制度として、新たに「こども・若者参画支援交付金」を創設します。

また、専門家や高校生などで組織する「こども・若者参画協議会」を新設し、こども・若者がまちづくりに参加・参画しやすいまちを実現するために必要な制度や仕組みなどについて協議していきます。また、こども・若者が意見を出し合えるプラットフォームの構築などについても検討していきます。

